

東京日々新聞

九百一十一号

たのき 襲ハ奇
と有リ合ハ
サの全銀のころ
差出まへーと大聲
ふかしやと弱藏
やうく立て傍ら有
簞笥の引出しと明る見えーが
突然白刃のぬつて賊の鼻先へ突つて
くれべ賊のこの不意あらよやと後さ
けん周章一て遁去ーとぞ

三田四国町一番地に住る佐倉藏不
から膽の座りたる男ありと去る十四日の夜八時
まき強盗三八や入リ其うち二人ハ三尺餘乃
三長刀と帶



萬齋
芳幾
野具正屋
渡辺彫栄